令和元年度

滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書

滝川市いじめ根絶シンボルマーク最優秀作品

令和２年８月

滝 川 市 教 育 委 員 会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、その報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。また、その際、客観性を確保する観点から、教育委員会以外の学識経験者による知見の活用を図ることとされています。

滝川市教育委員会は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、学識経験者、保護者、関係団体から成る「滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価会議」からご意見等をいただきながら、「滝川市教育推進計画」及び「令和元年度教育行政執行方針」をはじめ、令和元年度において教育部の重点事業として実施した６事業に係る事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、報告書を作成いたしました。

この点検・評価報告書を通じて施策の効果の検証と改善を図りながら、教育施策を着実に推進していきたいと考えていますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和２年８月

滝川市教育委員会

目　　次

1　教育委員会の活動状況について

（１）　教育委員会の会議の開催状況 …… 1

（２）　条例･規則等の制定､計画等の策定状況について …… 4

2　教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

（１）　点検･評価の方法について …… 6

（２）　点検･評価の流れについて …… 6

（３）　点検･評価対象事業について …… 6

令和元年度点検･評価対象事業一覧 …… 7

（４）　点検・評価に関する報告書

Ⅳ-(9)-③　コミュニティ･スクール …… 8

Ⅱ-(5)-①　適正配置計画に伴う江部乙中学校と江陵中学校との統合推進 …… 9

学校給食調理民営化の調査研究 …… 10

Ⅳ-(9)-④　地域の教育力活性化プロジェクト事業 …… 12

Ⅴ-(12)-③　オリンピック･パラリンピック連携推進事業 …… 13

Ⅴ-(14)-②　子どもの読書活動の推進 …… 14

１　教育委員会の活動状況について

（１）　教育委員会の会議の開催状況

滝川市教育委員会会議は原則として公開で、毎月１回を基本として開催するほか、必要に応じて臨時会議を開催しています。また、滝川市教育委員会が所管する事項について調査及び研究を行うことで様々な教育課題に対する活発な議論を行うため、滝川市教育委員協議会を設置しています。

ア　教育委員会会議（17回開催）

H31. 4.25	議　案	議案第１号　明苑中学校区学校運営協議会委員の任命について
H31. 4.26	報　告	①教育部補正予算について ②３月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議　案	①議案第１号　平成31年度教育行政執行方針について ②議案第２号　消費税及び地方消費税の税率の引き上げに伴う関係条例の整備等に関する条例 ③議案第３号　滝川市教育支援委員会議委員の選出について ④議案第４号　滝川市社会教育委員の委嘱について ⑤議案第５号　滝川市文化財保護審議会委員の委嘱について
	その他	①各所管の年間業務計画について ②運動会の日程について
R元. 5.7	議　案	議案第１号　学校職員の分限処分に係る内申について
R元. 5.21	報　告	①４月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議　案	議案第１号　滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 議案第２号　滝川市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について 議案第３号　滝川市いじめ防止専門委員会委員の委嘱について 議案第４号　江陵中学校区学校運営協議会委員の任命について 議案第５号　江部乙中学校区学校運営協議会委員の任命について
	その他	①「少年の主張」滝川地区大会開催要項について
R元. 6.5	議　案	議案第１号　開西中学校区学校運営協議会委員の任命について
R元. 6.27	報　告	①５月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②社会教育施設の利用状況について ③一般財団法人滝川生涯学習振興会の経営状況について
	議　案	議案第１号　滝川市教育委員会事務局職員の任免について 議案第２号　消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係規則の整備等に関する規則

	その他	①令和２年度から使用する小学校用教科書見本について
R元. 7.24	報　告	①６月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②いじめの問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察 ③道費負担教職員人事の内申について
	議　案	議案第１号　学校職員の分限処分に係る内申について
	その他	①外国語指導助手の採用について
R元. 8.19	報　告	①教育部補正予算について ②７月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ③道費及び市費負担教職員人事の内申について ④車両損傷事故に伴う損害賠償額の決定について ⑤公の施設の指定管理者の公募について ⑥東京2020パラリンピック競技大会事前合宿について
	議　案	議案第１号　滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について 議案第２号　滝川市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則を廃止する規則 議案第３号　滝川市スポーツセンター条例の一部を改正する条例 議案第４号　滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場条例の一部を改正する条例 議案第５号　滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場条例施行規則の一部を改正する規則 議案第６号　令和２年度に使用する小学校用教科用図書の採択について 議案第７号　令和２年度に使用する中学校用教科用図書の採択について 議案第８号　学校教育法附則第９条による令和２年度から特別支援学級で使用する教科用図書の採択について 議案第９号　令和２年度に使用する高等学校用教科用図書の採択について
	その他	①全国学力・学習状況調査の公表等について ②滝川市子どものいじめ防止基本方針概要版について
R元. 9.30	報　告	①８月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②学校における働き方改革　教職員業務改善推進プラン（改定第三版）について
	議　案	議案第１号　滝川市立高等学校学則の一部を改正する規則
	その他	①教育委員学校訪問について ②江部乙農村環境改善センターの改修に伴う江部乙図書コーナーの廃止について
R元. 10.29	報　告	①９月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申について

R元. 11. 8	議　案	議案第１号　学校職員の分限処分に係る内申について
R元. 11. 19	報　告	①教育部補正予算について ②10月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ③道費負担教職員人事の内申について
	議　案	議案第１号　公の施設の指定管理者の指定について
R元. 12. 20	報　告	①11月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②教育支援委員会議の概要について ③いじめの問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察について ④「スマートフォン・携帯電話等の利用に関する意識調査」の結果について
R２. １. 24	報　告	①12月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申について
	議　案	議案第１号　学校職員の処分内申について
R２. ２. 17	報　告	①教育部補正予算について ②１月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ③出願状況について
	議　案	議案第１号　令和２年度教育行政執行方針について 議案第２号　令和２年度教育予算について 議案第３号　滝川市奨学金貸付条例を廃止する条例 議案第４号　公の施設の指定管理者の指定について 議案第５号　公の施設の指定管理者の指定について 議案第６号　学校職員の専従許可の有効期間の更新に係る内申について
	その他	①令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について ②卒業式について ③いじめの問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察について
R２. ３. 24	報　告	①２月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申について ③教育支援委員会議の概要について ④令和元年度卒業式における国旗・国歌の実施状況について ⑤令和元年度卒業生進路決定状況について
	議　案	議案第１号　滝川市教育委員会事務局事務決裁規程の一部を改正する規程 議案第２号　滝川市教育委員会事務局職員被服規則の一部を改正する規則 議案第３号　滝川市奨学金貸付条例施行規則を廃止する規則 議案第４号　教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則 議案第５号　滝川市学校週５日制対策地域活動指導者設置規則を廃止する規

		則 議案第６号　滝川市生涯学習推進アドバイザー設置に関する規則を廃止する規則 議案第７号　道費負担教職員の任免に係る内申について 議案第８号　滝川市立学校職員及び滝川市教育委員会事務局職員の任免について
	その他	①入学式について ②辞令交付式について
Ｒ２．３．31	議　案	議案第１号　工事請負契約の締結について

イ　教育委員協議会（６回開催）

開催日	調査及び研究内容
H31．４．26	・平成31年度教育行政執行方針について
R元．７．24	・滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価について
R元．12．20	・令和元年度第１回滝川市総合教育会議について
Ｒ２．１．24	・令和２年度予算要求の概要について
Ｒ２．２．17	・令和２年度教育行政執行方針について
Ｒ２．３．９	・新型コロナウイルス感染症対策に係るこれまでの経過報告及び今後の対策について

（２）条例・規則等の制定、計画等の策定状況について

令和元年度に制定又は改正された教育関係条例の数は3件、教育委員会規則の数は６件です。

（施行年月日がH31.4.1～R2.3.31のもの）

ア　教育関係条例

題　　名	施行年月日
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	H31．４．１
消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整備等に関する条例	R元．10．１
滝川市スポーツセンター条例の一部を改正する条例	Ｒ２．１．１

イ　教育委員会規則

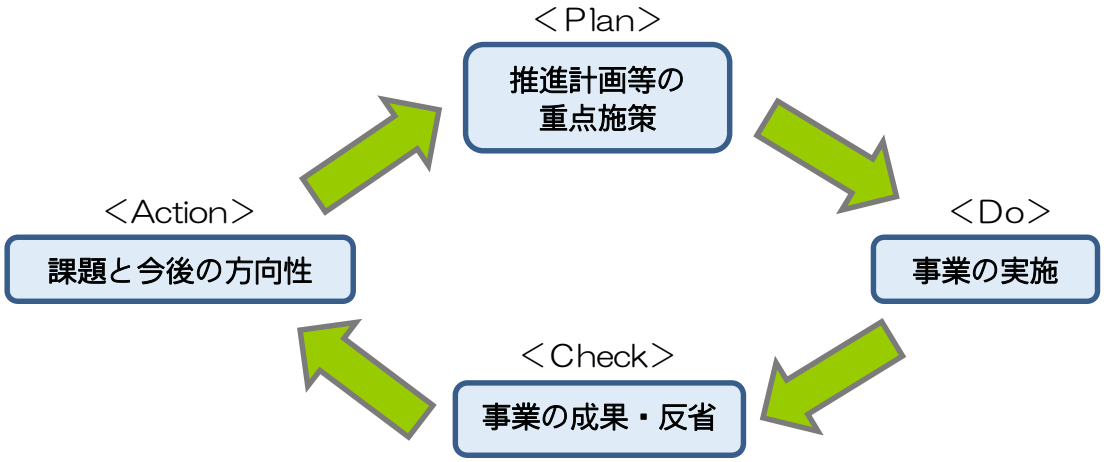
題　　名	施行年月日
滝川市学校給食費の徴収及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則	H31．４．１
滝川市学校運営協議会規則	H31．４．１
滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	H31．４．１
消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係規則の整備等に関する規則	R元．10．１

滝川市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則を廃止する規則	Ｒ元. 10. 1
滝川市立高等学校学則の一部を改正する規則	Ｒ元. ９. 30

2　教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

（１）　点検・評価の方法について

点検・結果のフィードバックについては、ＰＤＣＡサイクルに基づき、令和元年度重点事業における目標と成果の確認を適切に実施し、来年度に向けた課題とその解決に向けての方向性を決定します。



（２）　点検・評価の流れについて

ア　点検・評価シートの作成

教育委員会所管課において、点検・評価シートを作成し、実施事業に対する評価・反省を行います。

イ　外部評価の実施

外部評価会議を開催し、点検・評価シートに基づくヒアリング（目標、実施状況、評価・反省点、今後の課題・取組の方向性）を実施し、各取組に対する評価・意見をいただきます。

本年度は書面会議により外部評価を実施しております。

ウ　点検・評価の報告書作成

外部評価の決定後に点検・評価報告書案として、直近の教育委員会会議に付議し、承認を受けたのち、市議会の所管常任委員会（総務文教常任委員会）に報告書を提出します。

報告後、市のホームページに掲載し、報告書を公表します。

（３）　点検・評価対象事業について

平成24年度から「滝川市教育推進計画」に基づき点検・評価を行っており、令和元年度は、「滝川市教育推進計画」及び「令和元年度滝川市教育行政執行方針」をはじめ、令和元年度において教育部の重点事業として実施した６事業について点検・評価を実施しました。

※次頁の「令和元年度点検・評価対象事業一覧」参照

「令和元年度点検・評価対象事業一覧」

1	推進計画の重点施策	Ⅳ　学校・家庭・地域の絆を深め、家庭や地域の教育力を生かす	教育総務課
	推進計画の事業名	（９）　子どもたちの健全育成の推進	
	重点事業名	③地域と学校との連携による教育活動の支援	
	令和元年度事業名等	**コミュニティ・スクール**	
2	推進計画の重点施策	Ⅱ　子どもの学びを支える教育環境を整える	教育総務課
	推進計画の事業名	（５）　安全安心な学校づくりの推進	
	重点事業名	①小・中学校改築等施設整備の推進	
	令和元年度事業名等	**適正配置計画に伴う江部乙中学校と江陵中学校との統合推進**	
3	推進計画の重点施策	滝川市教育推進計画未掲載事業 令和元年度教育行政執行方針に基づいた重点施策	学校運営課
	推進計画の事業名		
	重点事業名		
	令和元年度事業名等	**学校給食調理民営化の調査研究**	
4	推進計画の重点施策	Ⅳ　学校・家庭・地域の絆を深め、家庭や地域の教育力を生かす	社会教育課
	推進計画の事業名	（９）　子どもたちの健全育成の推進	
	重点事業名	④地域の教育力を生かした健全育成活動の推進	
	令和元年度事業名等	**地域の教育力活性化プロジェクト事業**	
5	推進計画の重点施策	Ⅴ　人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	オリンピック・パラリンピック連携推進室
	推進計画の事業名	（12）　スポーツに親しめる環境の整備	
	重点事業名	③スポーツにおけるノーマライゼーションの推進	
	令和元年度事業名等	**オリンピック・パラリンピック連携推進事業**	
6	推進計画の重点施策	Ⅴ　人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	社会教育課 図書館
	推進計画の事業名	（14）　図書館活動の充実	
	重点事業名	②子どもの読書活動の推進	
	令和元年度事業名等	**子どもの読書活動の推進**	

滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対象年度	令和元年度	所管課名	教育総務課

推進計画の重点施策	Ⅳ　学校・家庭・地域の絆を深め、家庭や地域の教育力を生かす
推進計画の事業名	（９）　子どもたちの健全育成の推進
重　点　事　業　名	③地域と学校との連携による教育活動の支援
令和元年度事業名等	コミュニティ・スクール

目的・概要	・滝川市教育推進計画の基本理念である「未来を拓く『たきかわっ子』の育成」を目指すため、保護者・地域住民等が学校運営に参画することにより、目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を進める。 ・学校と地域が連携・協働し、双方向に「学び」「考え」「助け合う」体制を構築し、地域を活性化し、特色ある質の高い教育活動を推進する。

① 達成目標 (Plan)	・市内４中学校区ごとに学校運営協議会を設置するとともに、学校支援地域本部事業や学校関係者評価などの既存の取組をスムーズに制度移行する。 ・地域コーディネーター２名を活用し、学校のニーズを踏まえ、地域資源や地域人材による教育活動への支援充実に努めるとともに、特色ある教育活動を推進する。
② 実施状況 (Do)	・市内４中学校区ごとに学校運営協議会を設置した。 ・各学校運営協議会において、学校の運営状況について評価を実施した。 ・コミュニティ・スクールについて広く市民に周知するため、「ＣＳ通信」を発行するとともに、市公式ホームページや広報誌等を活用し情報発信に努めた。
③ 評価・反省点 (Check)	・学校運営協議会の設置については、当初の目標を達成したといえるが、２月頃に各校で協議を予定していた新年度の学校運営の基本方針については、新型コロナウイルス感染症の影響により議論することが出来なかった。 ・「ＣＳ通信」の発行や市広報誌で特集を組むなど、周知を行ってきたところではあるが、市全体にさらなる制度理解を図るために FMG'Sky を活用するなど、引き続き周知方法を検討していく必要がある。
④ 今後の課題・取組の方向性 (Action)	・事業を展開していくためには、学校が抱える課題・要望と地域資源のマッチングを図っていく必要がある。そのために、コミュニティ・スクールに対する市民の理解を深めるとともに、支援いただける地域の方々、企業を発掘していく必要がある。

外部評価会議委員からの評価・意見
・学校運営協議会が設置され、地域コーディネーターの活動が活発に行われていることは良い。 ・学校と地域・市民の連携をどう作っていくかが課題になる。 ・④今後の課題・取組の方向性に、「支援いただける地域の方々、企業を発掘していく」とあるが、新型コロナウイルスの影響により、今は企業等も大変な時期を迎えていることから、今後は無理せず急がずに進めるべきと思う。 ・コミュニティ・スクールの制度、趣旨があまり周知されていない。組織、委員名等もっと説明する必要がある。具体的活動内容ももっと詳しく説明すべきである。 ・市民の認知が進んでいないように感じる。市公式ホームページにて情報発信とあるが、どれくらいの人がアクセスしているのか解析してみて欲しい。FMG'sky を活用するのも良いとは思うが、子どもたちの親に周知するには学校のホームページに掲載も良いと思う。コミュニティ・スクールの会議に初めて参加させて頂いたが、事務局側に地域を巻き込んで活動していくという意志が見られなかった。

滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対象年度	令和元年度	所属課名	教育総務課

推進計画の重点施策	Ⅱ　子どもの学びを支える教育環境を整える
推進計画の事業名	（５）　安全安心な学校づくりの推進
重　点　事　業　名	①小・中学校改築等施設整備の推進
令和元年度事業名等	適正配置計画に伴う江部乙中学校と江陵中学校との統合推進

目的・概要	江部乙中学校と江陵中学校の統合について、統合準備委員会議を設置し、環境の変化に伴う両校生徒の負担軽減に配慮しながら準備を進める。

① 達成目標 (Plan)	・統合に向けて学校関係者と懇談の機会を持つとともに、統合に向けた準備・検討をスムーズに進めるため、統合準備委員会議を設置する。
② 実施状況 (Do)	・地域懇談会において江部乙中学校の統合方針を説明した。 ・統合準備委員会議設置に向けて、統廃合を進めてきた岩見沢市・美唄市・赤平市を視察した。 ・統合準備委員会議を設置するとともに、学校運営や生徒指導に関することを検討・協議する「学校運営部会」と、ＰＴＡ等組織に関することを検討・協議する「地域部会」を設置し、専門的事項の協議・検討を始めた。
③ 評価・反省点 (Check)	・統合に係る準備は、概ねスケジュールどおりに進行しているが、昨年度末から拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、統合準備委員会議及び部会が停滞状態にある。今後も新型コロナウイルス感染症が終息せず、長期化する可能性もあることから、感染防止を心がけながら、検討・協議を重ねていく必要がある。
④ 今後の課題・取組の方向性 (Action)	・統合への不安を緩和・解消すべく、引き続き統合準備委員会議及び部会において懸案事項を検討・協議し、今後の方向性を固めていく。

外部評価会議委員からの評価・意見
・統合の方向は理解している。何はともあれ該当保護者の納得、理解を得ることが大切である。 ・令和４年（2022 年）の統合に向けて、動き出したことは良い。 ・統合により一学年複数学級になることは子どもたちにとって良い事だと思う。あとは、保護者や児童、生徒が抱える不安を一つずつ大事に解決していくことが重要と考える。 ・統合後の新しい中学校の理念、そのための施設、設備も含めた「環境」づくりにも同時に取り組んでほしい。その後の滝川市が目指す教育の方向性も検討していただきたい。 ・③評価・反省点に、「準備委員会議や部会が停滞状況」とあるが、令和４年には統合するということを踏まえ、今後はインターネット会議等も検討すべきと思う。

滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対象年度	令和元年度	所管課名	学校運営課

推進計画の重点施策	滝川市教育推進計画未掲載事業 令和元年度教育行政執行方針に基づいた重点施策
推進計画の事業名	
重　点　事　業　名	
令和元年度事業名等	学校給食調理民営化の調査研究について

目的・概要	今後の安定的な学校給食提供のため、給食調理を専門とする民間企業が持つノウハウを活用した外部委託の可能性について調査を行う。

① 達成目標 (Plan)	・現在、６か所の給食調理場で１日約3,000食を調理しているが、平成29年度から調理員の欠員により定員をみたしていない。この状況は今後厳しくなることが見込まれ、安定的な給食提供のための人員を確保できなくなる懸念がある。 ・学校給食の運営については、全国で調理業務等の外部委託が進んでおり、平成 30 年５月現在の北海道内では約６割の調理場が外部委託している状況を踏まえ、直営と民営それぞれの利点・欠点を比較検討し、安定的な給食提供体制について調査研究する。
② 実施状況 (Do)	・給食調理業務を外部委託している近隣市町の担当者や道内で学校給食調理業務を受託している複数の事業者からのヒアリングを実施した。 ・市長部局（人事、財政、政策担当）との協議を行い、外部委託の可能性について方向性を定めた。
③ 評価・反省点 (Check)	・外部委託の利点として、欠員が生じている場合や急用で出勤ができなくなった場合など、受託会社が雇用している社員の派遣により欠員補充体制が構築される。 ・欠員補充の方策について外部委託以外では、①人材派遣の活用、②現調理員の雇用体系の見直し（常勤職員化、報酬額の増）の検討を行ったが、どちらの方法も種々の問題があり、他自治体の状況を見ても外部委託以外にこのような方法を取り入れている事例はなかった。 ・また、給食調理員の各種相談役となる専属職員を配置し、労務管理を一元化している事業者もあった。 ・なお、受託会社が何らかの事由で撤退した場合については、多くの自治体で、他の給食提供事業者である「履行保証人」との３者契約を結ぶことで対応していた。 ・外部委託の欠点として、責任所在の複雑化や教育委員会、学校との連携の難しさが挙げられるが、他自治体の例から契約書・仕様書で明文化することや国が発出している「地方公共団体の適正な請負（委託）事業推進のための手引き」を参考とすることで支障は生じないと判断した。 ・以上について確認し、学校給食の安定的な提供体制を整えるためには外部委託を進めるべきと判断した。
④ 今後の課題・取組の方向性 (Action)	・学校給食調理業務等委託のための滝川市令和２年度当初予算が可決された。 ・学校給食は安全性の確保と衛生管理の徹底が最も重要であり、契約金額のみではなく、本市の学校給食の目的を達成することができる企画提案を行った事業者を選定した。 ・令和２年５月に契約を締結し、運用開始予定である８月１日まで諸準備を進めている。

外部評価会議委員からの評価・意見
・諸課題の解決策としての唯一の選択であり、それを実現したことから良と考える。 ・外部委託化については、調理員の人員確保や欠員補充がしっかりと履行されるのであれば問題はないものと思う。 ・人員確保のためにも賛成である。 ・今般の新型コロナウイルス感染症の対応で課題もあったと仄聞しているので、今後の取組をお願いしたい。

・外部委託を進めていく中で、目的である学校給食の安定的な提供が成される為に、委託事業者へ任せきりにすることなく、状況を見守っていく必要があると思う。

滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対象年度	令和元年度	所属課名	社会教育課

推進計画の重点施策	Ⅳ　学校・家庭・地域の絆を深め、家庭や地域の教育力を生かす
推進計画の事業名	（９）　子どもたちの健全育成の推進
重　点　事　業　名	④地域の教育力を生かした健全育成活動の推進
令和元年度事業名等	地域の教育力活性化プロジェクト事業

目的・概要	・空知教育局との連携事業。 ・子ども達の自主性や社会性を育み、異年齢・地域間交流が図れる体験活動の一つである「下の句かるた」をツールとして、子ども達が地域の中で、地域の大人とともに気軽にかるたに親しめる環境をつくるとともに、地域が連携して子どもの成長を支える「地域の教育力」を向上・充実させる。

① 達成目標 (Plan)	・多くの子ども達が放課後の時間を過ごす児童館・児童センターにおいて、児童厚生員と連携し、地区育成会などの地域の人達が育成活動を行うことができる環境づくりの可能性を探る。 ・子ども達、支援者などの地域間交流を活発にし、育成活動の充実を図る。
② 実施状況 (Do)	・6 月　学習会開催　スタートアップ及び、各地区育成会、児童厚生員を、各小学区ごとのグループにより現状と課題の共有。役割の理解。 ・8 月　学習会開催　栗山町における取組について講師を招聘し講演。それを踏まえ、各地区で取組可能な具体的事業の検討。 ・9 月　検討会開催　西地区児童館における下の句かるたの取組について映像で共有。前回検討をさらに進めた具体的事業の検討。下の句かるた交流会の企画。 ・10 月　地区ごとの取組と「下の句かるたフェスティバル」の内容検討。 ・11 月　中央児童センターにおいて「下の句かるたフェスティバル」を開催。 ・3 月予定の事後検証会議は中止。
③ 評価・反省点 (Check)	・地域住民が地域に住む子ども達について更に身近に考え、「地域の子どもは地域で育てる」ことについて自分たちには何ができるのかを改めて考える機会をもつことができた。 ・育成会が中心となり児童厚生員と協働で、「下の句かるた」を通じた子どもたちの望ましい生活習慣の定着を図る取組が実施された。
④ 今後の課題・取組の方向性 (Action)	・地域課題の解決に向け、話し合い、学び合う場を設け、住民自らが主体的に課題解決に取り組む機運の醸成を図る。 ・公民館講座、放課後子ども教室、子ども会事業など社会教育課と市子育て応援課が所管する事業を連携させるなどして「持続可能な地域教育力の基盤づくり」に取り組んでいく。

外部評価会議委員からの評価・意見
・地域の教育力の活性化のために「下の句かるた」に取り組んだことは良い。令和２年度以降、継続されていくのか。 ・事後検証会議が中止になったのは残念です。そのまま検証されずとなってしまうのでは次の計画に影響するのではないかと思う。下の句かるたを通して子どもと地域の人が交流する機会を持つという事はとても良い事だと思う。 ・児童館・児童センターを活用し、大人と子どもが交流できることは素晴らしいと思うが、ツールとしては下の句かるただけではなく、同じように大人と子どもが一緒に取り組める将棋なども取り入れてはどうかと思う。 ・コミュニティ・スクールの取組との関わりは難しいのだろうか。

滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対 象 年 度	令和元年度	所属課名	オリンピック・パラリンピック連携推進室

推進計画の重点施策	Ⅴ　人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える
推進計画の事業名	(12)　スポーツに親しめる環境の整備
重　点　事　業　名	③スポーツにおけるノーマライゼーションの推進
令和元年度事業名等	オリンピック・パラリンピック連携推進事業

目的・概要	東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会に参加するパラカヌーチームの滝川合宿を実現し、滝川市として大会の成功に向けた支援を行うとともに、合宿に参加するパラリンピック選手と市民との交流により、共生社会の実現、心のバリアフリー活動の推進を図る。

① 達成目標 (Plan)	・内閣官房と連携し、パラカヌー競技に的を絞り、滝川での事前合宿を実現する。(アルゼンチン共和国に対してアプローチ開始) ・2020 年に向け、滝川からも大会成功の機運醸成を図るべく、合宿実施に関連して各種交流事業を展開する。
② 実施状況 (Do)	・4 月　代理人を介し、アルゼンチン共和国パラリンピック会長と交渉開始。 ・6 月　アルゼンチン共和国パラリンピック委員会との間で、滝川市で事前合宿を行う意思確認を行い、「基本合意書」を締結。　以降、詳細事項の確認と協議を継続。 ・10 月　アルゼンチン共和国パラリンピック委員会会長が来滝し、「滝川合宿に係る協定書」を締結。正式に滝川での事前合宿が決定。(同月、橋本東京オリンピック・パラリンピック担当国務大臣及びアルゼンチン大使に対して報告) ※その後、会長と、スカイプを利用したリモート会議を行い、各種交流事業の協議検討を進め、2020 年の 6 月の選手来日、8 月の事前合宿などのスケジュールを決定。
③ 評価・反省点 (Check)	・アルゼンチン共和国パラカヌーチームの合宿受け入れを決定した。 ・代理人を介した交渉であるとともに、国の文化の違いなどから、レスポンスが遅いことが多く、協議に時間がかかるなど、スケジュール進行上に問題点があった。 ・新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、２０２０大会の延期が決まり、計画していた各種事業についても現在見直しを行っている状況。
④ 今後の課題・取組の方向性 (Action)	・今後の新型コロナウィルスの感染状況を踏まえながら、適切な事業の見直しを行う。 (この状況下で、日本よりさらに状況が悪い南米の国との交流に対する市民感情等も踏まえながら、検討する。)

外部評価会議委員からの評価・意見
・令和元年度の取組としては良い。 ・現段階においては滝川市で事前合宿を開催するか否かを判断できる状況ではないと思う。引き続き新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら、決断しなければならない時期を決めて判断するしかないと思う。 ・事前合宿の誘致に成功したことは非常に素晴らしく、是非合宿を実施していただきたいが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を勘案し、実施の検討を行っていただきたいと思う。 ・今後のことは、オリンピック・パラリンピック全体が決まらないと動きようがないということか。

滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対象年度	令和元年度	所属課名	社会教育課図書館

推進計画の重点施策	Ⅴ　人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える
推進計画の事業名	（14）　図書館活動の充実
重点事業名	②子どもの読書活動の推進
令和元年度事業名等	子どもの読書活動の推進

目的・概要	・「第4回滝川市立図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、子どもたちの学ぶ力や考える力を育む。 ・「たきかわDE調べる学習体験講座」を実施し、調べ学習を支援する。 ・知的書評合戦「新春☆ビブリオバトル2020」を開催し、異なる世代が読書で交流を図る。
① 達成目標 (Plan)	・「調べる学習コンクール」への参加者数の増加と作品内容の充実 ・「調べる学習体験講座」による調べ学習支援 ・「ビブリオバトル」を通じた異世代交流とヤングアダルト世代の読書活動への参画
② 実施状況 (Do)	・「調べる学習コンクール」の募集を行い、市内各小学校と連携し、多くの作品の応募をいただいた。厳正な審査を経て、小学校低学年・中学年・高学年各4作品ずつ、郷土賞1作品を選出し表彰式を行った。受賞作品のうち5点は全国コンクールへ出展し佳作を受賞した。また、応募作品については図書館内で展示会を行い、広く市民に披露した。（応募作品：202点） ・「調べる学習体験講座」を7月30日、8月2日に、市内3施設と連携し実施した。滝川の自然をテーマに、体験を通して発見したこと、知りたいことなどを図書を活用して調べてまとめる学習を行った。（参加者：小学生36名） ・「ビブリオバトル」を1月18日に開催した。ビブリオバトルは、発表者それぞれがおすすめの1冊について5分間語り、参加者が一番読みたくなった本に投票しチャンプ本を決定する取組で、小学生及び高校生、短大生、一般が発表者として参加し、幅広い年齢層が本を介した交流を図った。（参加者：55名）
③ 評価・反省点 (Check)	・「調べる学習コンクール」では、過去最高の202点の応募があり、図書館の資料を活用した調べ学習が浸透してきた。また、調べ方のコツなどの冊子も作成したことで、例年よりも作品の質の向上が図られた。また、当館の調べ学習支援の取組が高く評価され、全国の地域コンクール実施館から選出される全国表彰「図書館を使った調べる学習活動賞」を受賞した。 ・「調べる学習体験講座」では、体験内容の見直しを図り、より子ども達が郷土愛を深めながら探求心を刺激する取組となり、自ら学ぶ力が育まれた。体験講座参加者から「調べる学習コンクール」の最優秀賞が出るなど、内容の充実が図られた結果が出てきている。 ・「ビブリオバトル」は小学生から大人まで幅広い年齢層が本を介した交流を図り、読書意欲の喚起に繋がった。紹介された本をイベント終了後借りていくなど、読書意欲の喚起に繋がっていた。特に本離れの進む小学生高学年から短大生のヤングアダルト世代が読書活動に参画し、読書の素晴らしさをより深く感じるきっかけとなった意義は大きい。
④ 今後の課題・取組の方向性 (Action)	・「調べる学習コンクール」や「調べる学習体験講座」を通した調べ学習支援の推進のほか、日常的な授業での調べ学習への積極的な支援を行えるように、教職員への活用に向けてのPRや要望に応えられるような資料の充実に努め、いつでも個々の相談に応じられる体制を整えたい。また、「ビブリオバトル」については、学校とも連携しながら、読書離れが進む世代にも参画してもらい、読書へのきっかけづくりとなるように読書活動の推進に努めたい。

外部評価会議委員からの評価・意見
・調べる学習コンクール作品の内容も充実している。事前、事後の取組も良い。 ・今後も事業を継続していただきたい。 ・図書館の活動に関しては様々なメディアで目にする事が非常に多く、その積極性は素晴らしいと感じている。今後も子どもたちの読書のきっかけづくりを継続して発信して欲しい。 ・近年は、インターネットやゲーム機の普及により、図書館の利用や読書をする子供が減少するなかで、読書活動を普及する大変素晴らしい事業なので、今後も継続していただきたいと思う。